放課後等デイサービス
「かりん」の初めての夏休み

４月からスタートした放課後等デイサービス「かりん」が、夏休みを迎えました。初めての長期の学校休業日の対応ということで、スタッフ一同不安を抱えたまま、夏休みに突入しました。

午前中は、夏休みの宿題など学習に取り組みました。苦手な教科も、スタッフに励まされながら一生懸命に取り組む姿を沢山見ることができました。お昼ご飯は、宅配弁当を頼むことが多くなってしまいましたが、みつばちを応援してくれているご夫婦が、お昼ご飯を作りに来てくださいました。野菜嫌いな子どもたちも、「おいしい、おいしい。」と残さずに食べる姿に驚きました。午後は酷暑対策として、ビニールプールを用意しました。室内では時にはケンカもおきますが、プールの時間だけはケンカもなく、はしゃぐ子供たちの声が響いていました。誕生日を迎えた子もおり、手作りの誕生日会も開きました。お礼のあいさつをする姿に、成長を感じることもできました。

嬉しいゲストも来てくれました。Be サポート会員で、読み聞かせ経験の豊富なKさんです。子どもたちを紙芝居やいろいろな種類のかるたで楽しませてくださいました。

不安のなか始まった夏休みですが、多くの方に支えられ、助けられながら、無事夏休みを乗り切ることができました。これは、子どもたちにとっても良い経験になったと思いますが、スタッフにとっても大きな自信となりました。「かりん」に協力してくださった全ての方に、この場を借りてお礼申し上げます。

障害児・者総合サポートセンターみつばち

●児童発達支援サービス（2 歳～就学前）**あんず**

平日　　時間　9：00～13：00

●放課後等デイサービス（小学生）**かりん**

平日　　時間 14：00～18：00

土曜日　　時間　9：00～18：00

●保育所等訪問支援（就学前・就学後）

平日　　時間　9：00～15：00

●特定相談支援

●障害児相談支援

お問い合わせ先・・・みつばち　(055-943-7646)

２学期が始まったよ

朝から一日元気いっぱいで過ごした夏休みも終わり、放課後等デイサービス「かりん」の子どもたちは、２学期を迎えました。夏休み日課が抜けきららない子どもたちは、２学期が始まってしばらくは、「もう帰る時間だよ！」と声をかけると、どの子も「なんで？まだ来たばかりじゃん」という返答が返ってきたのを覚えています。

夏休みに比べると、「かりん」で過ごす時間は２時間程度です。学校から「かりん」に来て、おやつを食べて宿題を済ませ、遊びに夢中になっていたら、あっという間に帰る時間になってしまいます。「なんで？」と感じる子どもたちの気持ちも納得できます。そんな子どもたちも、10 月に入り、放課後の「かりん」での日課も定着してきました。各々に応じた学習に取り組み、自由時間ではおままごとやブロック、最近ではみんなで鬼ごっこをするのが流行っています。なかなかルールが守れず中断することもありますが、集団での遊びを通じてルールを守ることの大切さを学び、成長している様子もうかがえる日々です。

子どもたちにとって、「かりん」が楽しく安心して過ごせる場所であり続けられるようスタッフ一同、努力しながら子どもたちの成長を見守っていきたいと思っています。

みつばちの利用者（10 月 15 日現在）

あんず：４名　　かりん：９名

みつばちに見学・問い合わせがありました

- ★　熱海市障害福祉課さま
- ★　沼津市立みゆき保育園さま
- ★　沼津市発達支援センターさま
- ★　沼津市子育て支援課さま
- ★　しんあい保育園さま
- ★　丘の上保育園さま
- ★　サポートセンターなかせさま
- ★　発達支援センターこげらさま
- ★　静岡県臨床心理士会東部地区さま　　など

ありがとうございました！

発達障害支援事業　第３回講演会
＆
障害児・者総合サポートセンター
みつばち開所記念講演
於：沼津労政会館（８月１０日）

第一部では、沼津中央病医院児童精神科　医師　渡邊瑠衣先生をお招きして、「発達障害～医療の現場から～」について発達障害医療の実際をお話しいただきました。診断の仕方や概念の変化、発達障害と見分けが難しい病気、原因等を丁寧にご説明いただき、治療についても丁寧にお話しいただきました。第二部では、平成２６年４月に開所した「障害児・者総合サポートセンターみつばち」の紹介をしました。放課後等デイサービス『かりん』、児童発達支援『あんず』、保育所等訪問支援の多機能型の支援を行う中で、「こころと個性と感性をはぐくむ療育」を目指していきたいと説明しました。

当日は雨模様の中、95 名の参加があり、一部・二部とも積極的な質問がありました。アンケートを回収した中の約９割の方が「役に立った」と回答されていました。

今回の事業運営には、会員の皆様にも多くのご協力を頂きました。この場をお借りして、お礼申し上げます。

ひきこもり合同相談会 ９月 20 日
（於：富士駅南まちづくりセンター）

静岡県教育委員会主催のひきこもり合同相談会で個別のブースを設け相談を受けました。今回で４回目の参加ですが、７件の相談を受けました。回を重ねるごとに当ブースに相談に来られる方の件数が増えてきて、不登校や引きこもりに悩んでいる当事者や親御さん、対応に悩む関係機関も増えている印象を持ちました。また、Be サポートが広く認知されてきているようにも思いました。

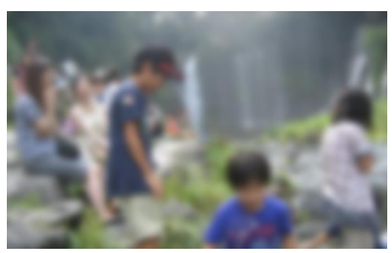
これからも皆様の期待に沿えるような支援や居場所作りの準備をしていきたいと思います。

静岡県在住の
東日本大震災　被災者支援活動
「OHANA」（オハナ）

ＯＨＡＮＡ学校の夏休み

今年の夏のＯＨＡＮＡ学校の印象はと聞かれれば、「猛暑」と「宿題」この２つの言葉に尽きるでしょう。連日の猛暑、なかにはクーラーの設定温度をスタッフが見ていない隙に極端に下げ、注意された子もいたような・・・。宿題は、子供たちの学年があがったため、内容・分量が昨年度よりレベルアップしていました。なかなか終わらず、皆で大奮闘し、昼食後、疲れてお昼寝したこともあります。夏休みの経験を生かして、子供たちが２学期から、また学校で楽しく過ごしてくれることを願っています。

富士山探検ツアー（７月２７日）

世界遺産となって２年目の富士山と富士五湖をめぐるバスツアーを企画しました。快晴のもと、河口湖登山口五合目を目指します。富士山が近づくにつれその迫力に圧倒されたり、大人も子どもも歓声を上げていました。

登山口に到着し、まず神社を参拝しました。子どもたちは時間になるまで頂上を目指して登ったり、大人の方たちはお土産を買うなどのひと時を過ごしました。昼食は地元の名物、ほうとう鍋を食し、普段食べたことがない珍しい食べ物にみんな舌鼓を打っていました。「コウモリ穴」ではネイチャーガイドさんの話を聞きながら樹海を案内してもらいました。大昔に富士山が噴火した後にできた穴や珍しい木の実など子どもたちも興味を持って聞いていたようです。コウモリには会えませんでしたが、森林浴も兼ね皆さんリラックスしたようでした。車窓から富士五胡を眺めたあと、白糸の滝に途中下車して、沼津に帰ってきました。